



市美術館 第3期コレクション展

12月27日(日)まで

展示室1：人物表現のいろいろ

人を描くといっても、その目的「作品を通して伝えようとするもの」によって表現方法はさまざまです。例えば、肖像画は描かれた人の人となりや功績を後世に伝えるために、ときに写実的であるより理想化された姿を描くことがあります。また、美人画は人物の容姿や内面の美しさを切り取り、永遠の美として表現しているものといえます。本展は近現代を中心とした日本画・版画による人物画を紹介します。



高山辰雄《少女》1992年



北野恒富《新浮世絵美人合 三月 口べに》(部分)1924年



田能村竹田《月下芦雁図》1823年
重要文化財



田能村直入《羅浮仙女図》
幕末～明治時代

展示室2：明月を見つめて

●期間：11月8日(日)まで〈11月10日(火)から「田近竹邨」〉
旧暦の8月15日は古来「中秋の名月」として、この日の満月をめぐる月見の風習が伝わります。本展は「美術館でお月見」という趣向で、田能村竹田、帆足杏雨、田能村直入、平野五岳ら、幕末から明治時代にかけて活躍した4人の南画家たちの月をめぐる作品を特集します。画中に清らかな光を注ぐ、美しい月の多彩な表現をお楽しみください。

展示室3：生誕130年 権藤種男展

権藤種男は1891年、大分市生まれの洋画家です。1912年に東京美術学校図画師範科を卒業。第11回文展で初入選を果たし、第2回帝展、第11回帝展で特選となり、その後は永久無鑑査(推薦)として、官展を中心に活動しました。終戦後は大分にとどまり、県美術協会を再建し、初代会長として没年まで運営に尽力しました。本展は、大正期から没年までの人物、静物、風景画により権藤種男の画業をたどります。



権藤種男《自画像》1935年



権藤種男《百合》1927年

展示室4：陶芸の魅力～河合誓徳を中心に～

河合誓徳は1980年代以降、絵画的な風景文様や釉裏紅の美しい作品を多数制作しました。これらの作品には、文様や色を最大限に活かすべく「形」にも細やかな工夫が凝らされています。本展では、河合誓徳が1980年代以降に制作した作品に焦点を当て展示します。隣り合う作品を見比べ、美しい風景文様や色はもちろん、河合誓徳の「形」へのこだわりもお楽しみください。



河合誓徳《行雲》1989年頃



河合誓徳《望》1997年



大分市美術館 × 大分県立美術館

OPAM



美術館からのお知らせ



クイズラリー 2020秋

県立美術館と市美術館のそれぞれのコレクション展を巡りクイズに挑戦しませんか。

開催期間

前期：11月3日(火)まで

後期：11月5日(木)～12月1日(火)

※市美術館については、休館日を除く
(休館日：月曜日〈月曜日が祝日の場合はその翌日〉、
第1月曜日は開館)

受付場所・時間

県立美術館コレクション展受付

時間：午前10時～午後6時30分 ※金・土曜日は午後7時30分まで

市美術館エントランスホール総合受付

時間：午前10時～午後5時30分

参加方法

- ① どちらかの美術館でクイズラリーの問題用紙を受け取る。
- ② コレクション展を観覧してクイズに答える。
- ③ 回答を記入したら、受付に用紙を提出する。全問正解すると、用紙にスタンプを押します。
- ④ スタンプを押された用紙を持ち、もう一方の美術館へ。
- ⑤ 上記②～③と同じように、もう一方の美術館でも全問正解すると、先着60人(前期30人〈各館15人ずつ〉、後期30人〈各館15人ずつ〉)に景品をプレゼントします。

※クイズラリーへの参加は1人1回までです。
※景品がなくなり次第終了です。

参加料

クイズラリーの参加料は無料。ただし、高校生以上は両館ともにコレクション展の観覧料が必要です。

(観覧料)・県立美術館コレクション展Ⅳ「新しき美の仲間たち」

一般300円(250円)、高校・大学生200円(150円)、中学生以下は無料

※()内は有料入場20人以上の団体

※県芸術文化友の会びび KOTOBUKI・TAKASAGOは無料、UMEは団体料金

※障がい者手帳等をご提示の人とその付添者(1人)は無料です。

・市美術館第3期コレクション展

一般310円(260円)、高校・大学生210円(150円)、中学生以下は無料

※()内は20人以上の団体料金

※年間パスポート使用可

※上記観覧料にてコレクション展(展示室1～4)をすべてご覧になれます。

※特別展観覧料でコレクション展も併せてご覧になれます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。



市美術館 ☎554-5800